

「学校・いけばな・出会いプロジェクト」実施要領

1. 趣旨・目標

日本の道徳観や美的感覚、生活を彩り他者をもてなすための創意工夫、生命の大切さを学ぶ「いけばな（華道）」体験を提供することにより、子どもたちの豊かな心や創造性を育むとともに、先人から受け継がれてきた文化の心を次世代に継承することを目的としています。

2. 対象

京都市立を除く、京都府内の中学校（支援学級を含む）、府立特別支援学校（小学部以上）
※教育支援センター、適応指導教室にも派遣可。
※支援学級のみでの実施可。

3. 対象となる科目例

社会、美術、技術、家庭、道徳、その他（総合的な学習の時間）等
※授業での実施が困難な場合は、クラブ活動等での実施も可能です。

4. 派遣講師について（団体プロフィール）

京都いけばな協会（会長 松本 司）

京都いけばな協会は、昭和 25 年に結成するとともに第 1 回「華道京展」を開催。京都を中心に活動する 27 流派で構成され、京都府、京都市と連携して「京都新世代いけばな展」「華道京展」等を開催しています。

派遣講師は、地域や児童生徒数、学級数等を鑑みて、加盟流派から選出します。

※華道家はいけばな体験の講師として派遣しますので、体験中の児童生徒の指導は、担当の教員が対応ください。

※学校で希望する講師がいる場合は、希望講師による実施も可能です。ただし、講師の都合等により希望どおりの実施とはならない可能性があります。

5. 実施可能な時期

9 月～2 月末（ただし、12 月は花材調達が困難なため不可）。

6. 実施回数・人数

回数：各校 1 回（クラスごとの実施可能）

人数：1 クラス約 40 名まで。開催教室（体育館等）により多人数での実施も可能。

7. 所要時間

1 クラス 90 分程度（2 コマ分）

8. 実施場所

各学校の教室（理科室・家庭科室・美術室・体育館 等）

※近くに水場のある教室を推奨します。

9. 準備物（学校）

バケツ、ふきん・ぞうきん、じょうろ・やかん・ペットボトル等、講師・スタッフ用の駐車場

※バケツは持ち帰る花を下校時まで保管するため使用します。40 人実施の場合は 7～8 個必要です。

※ふきん・ぞうきんは、花や花器から滴り落ちる水や、使用後の花器、剣山、花ばさみを拭くために使用します。

※じょうろ等は、花器に水を張るために使用します。

※体験に必要な道具（はさみ、剣山、器等）は、京都府から学校へ貸し出します。また、花ばさみや剣山は、アレンジ鉢（紙切りばさみと同様）やオアシス（給水スポンジ）に変更することも可能です。

10. 持ち物（生徒）

タオル、花を持ち帰るための袋

※タオルは、手拭きやはさみ置きとして使用します。

※持ち帰り用袋は、花を持ち帰るために使用するため、水に濡れてもいい材質を推奨します。

11. 実施決定後の流れ

① 打ち合わせ日、実施日の決定

派遣講師と打ち合わせ日と実施日をご調整ください。確定後、必ず京都府までメールでご連絡ください。なお、打ち合わせ日は、実施予定日のおおむね 1 ヶ月前を目途に設定ください。

② 派遣講師と事前打ち合わせ

「打ち合わせ確認シート」をもとに、体験内容のすり合わせ、使用教室の確認、実施日当日の流れ等を講師等と相談し確定してください。

オンライン実施の場合も、講師が実施教室を確認できるようにしてください。

③ 事業計画書の作成

打ち合わせ内容をもとに、事業計画書を作成し、メールで京都府までご提出ください。

④ 事前準備

前日又は当日の実施時間前に花・花器の搬入の補助をお願いいたします。

※体育館など机のない場所で実施する場合は、事前に会場準備をお願いいたします。

⑤ 体験中

児童生徒の怪我防止（声かけ等）、成果物の撮影、ごみの回収等、可能な範囲で講師補助をお願いいたします。

⑥ 事後作業

花器類の片付け、搬出作業（荷物運搬）の補助をお願いいたします。

⑦ 報告書作成

事後調査票（Forms）を入力し、事業完了報告書をメールで文化芸術課に提出いただきます。

いけばな体験の実施例（基本メニュー）

「いけばな」体験・楽しく花を生けてみよう

いけばなの歴史・文化を学びながら、瑞々しい花々を生けていく「いけばな」体験プログラムです。「生きている」花を用いて、生活を彩ることができるいけばなは、花々・草木に触れることにより生命の尊さや力強さを感じるとともに、同じ花を使用しても一人一人違った味わいのある成果物ができあがり、個々の個性を活かし、感じられる体験にもつながります。

実施回数	クラスごとに 1 回
所要時間	2 コマずつ（90 分程度）
人数／学級数	1 クラス約 40 名まで
実施場所	各学校の教室（理科室・家庭科室・美術室・体育館 等）
実施内容（例）	① いけばなの歴史・文化について、簡単に説明（概論） ② 花材やはさみの使い方等を説明 ③ 講師の指導のもとで、花をいける ④ 友達の作品を鑑賞する ⑤ 成果物の写真撮影（できた人から撮影します） ⑥ いけばなやお花のある生活の魅力について解説 ⑦ 家に帰ってから、いける際の注意点の説明 ⑧ 命ある花の面倒を最後までみることの大切さを説明 ⑨ 片付け（いけた花を持ち帰れるよう、各自で片付けまで行ってください）
備考	・ <u>実際の体験内容は事前打合せを行い、各学校の要望や状況に応じて変更を加えていきます。</u> ・既に類似の体験を実施している場合は、本事業を活用して既存の体験を実施することも可能です。

